

# ひらいグループの沿革

創世記	<p>昭和27年5月、合資会社夏井材木店を設立。</p> <p>昭和30年8月、平井木材株式会社を設立。 材木卸売会社としての事業基盤を確立していく。</p>	
転換期	<p>昭和50年4月、有限会社君津ハウジング（現ひらい・建設工業株式会社）を設立。 住宅事業への進出を果たす。木材供給からより上流の住宅建築を手がけることによって、事業領域の拡大及び安定化を推進。</p>	
革新	<p>昭和55年、にプレカット工場（現有限会社平井プレカット）を開設。 業務の効率化、部材加工の高品質化を先取りする生産工場として住宅業界の注目を集める。 ☒</p>	
住宅事業の発展	<p>一条工務店（在来工法）、プライトホーム（2×4住宅在来）、ユニバーサルホームと次々とFC（フランチャイズ）に加盟。 並行して、木材の加工販売から住宅販売、設計、施工というひらいグループ内でのグループ一貫体制を確立する。</p>	
組織の拡充	<p>株式上場を目指せる企業として、事業・組織の変革を積極的に進める。</p> <p>平成6年2月、袖ヶ浦センター開設。 以後、株式会社ひらい及びひらいグループの物流基地として、重要な役割を果たす。</p> <p>平成9年7月、株式会社ひらい、プレカット事業を拡大。住宅資材およびプレカットの需要増大を見越した、生産体制の確立を進める。</p> <p>平成10年、株式会社ひらいへ商号変更。</p>	
大変革	<p>平成14年、地元大工・工務店対象の「住まいづくりフェア」を変更し「千葉まちづくり協議会」企画の「かずさいきいきリビングショー」へ参加。 創業五十周年を迎える。</p>	